

県西地域大学連携事業について

1 目的

大学が持つ専門的な知見と若者（学生）の視点を活かし、地域と連携して「未病を改善する」取組みの促進に繋がる事業を展開することで、更なるプロジェクトの推進を図る。

2 採択事業一覧

	大学名	事業名	事業内容	今後の展開
1	小田原短期大学	未病の改善を目的としたレシピ開発と地域への提案～適塩・野菜たっぷりメニューの商品化と普及～	「適塩」「野菜」をキーワードにしたレシピコンテストを学内で開催し、未病の改善に繋がるメニュー開発と普及を図る。 ・12月にレシピコンテストを実施。 →入賞した4品について、2月13日より小田原お堀端万葉の湯にて販売。	・万葉の湯での継続的な販売 ・小田原市と連携したメニューの普及啓発
2	慶應義塾大学	耕作放棄地解消のための安全性・収益の高い柑橘栽培の実践と都市農村交流を通じた未病改善事業	みかん畑の耕作放棄地の解消を目指し、安全性かつ収益が高いレモンへの転換を進めるため、ビジネスモデルの確立を目指すとともに、地域住民と連携を図りながら、レモンの植樹等を行う。 ・8月及び11月に、本事業に関心を持った大学生（他大学含む）や企業、養護学校などの有志により、耕作放棄地を整備。 →3月にレモンを植樹。	・植樹したレモンの管理 ・企業等と連携した耕作放棄地対策の展開
3	東海大学	未病改善につながる観光の実証体験及びモデルプラン提案	「未病いやしの里の駅」において、医学的見地から未病改善効果を測定する観光モデルプランを作る。 ・箱根高原ホテルの協力を得て、9月から断続的にフィールドワークを実施し、未病の改善効果を測定する運動体験プランを検証。	・観光モデルプランの実践
4	東京農業大学	発酵を活かした地域住民のやりがいづくりによる未病改善プロジェクト	開成町のあしがら郷瀬戸屋敷において、発酵のメカニズムや健康効果を専門的かつ楽しく学べる講座の実施と発酵特産物の開発をするワークショップを開催する。 ・麴や乳酸菌についての講義を2回実施。 ・ワークショップを3回開催し、発酵食品を使ったメニューを開発。→3月のイベントで試食会を実施。	・開発したメニューを瀬戸屋敷で提供予定
5	横浜国立大学	「農家高齢者の未病改善」を目指す滞在型農業体験事業	農家の高齢者の生きがいづくり（＝未病改善）のため、学生が農家に滞在して農業体験を行うとともに、自立化に向けた体制づくりを行う。 ・12月に滞在型農業体験のトライアルを実施。 ・3月に農業体験希望者のニーズ把握のためのシンポジウムを開催。	・滞在型農業体験の本格実施に向けた検討
6	横浜薬科大学	未病改善のための環境を基盤としたウィメンズヘルス	女性をターゲットに自分の体質・体調に合った効能を持つ野菜を栽培・収穫する「マイセルフ野菜」の実施と、未病改善に繋がる講座等を実施する。 ・10、11月に、生活環境や身体、食事等の身近なテーマで未病の改善に係る講座を開催し、農作物の効能を踏まえた収穫体験等を実施。 ・2月には、医師による日々の生活での未病の改善にポイント等についての講演会を開催。	・企業と連携した事業の自走化

